

浜の活力再生プラン

1 地域水産業再生委員会

組織名	香川県地域水産業再生委員会 高松地区部会
代表者名	部会長 北野広治

再生委員会の 構成員	屋島漁業協同組合、高松市東部漁業協同組合、高松市瀬戸内漁業協同組合、東瀬戸漁業協同組合、香西漁業協同組合、下笠居漁業協同組合、直島漁業協同組合 高松市、直島町 香川県、香川県漁業協同組合連合会
オブザーバー	

対象となる地域の 範囲及び漁業の種類	<p>[範囲] 高松市（庵治町、牟礼町を除く）、直島町</p> <p>[漁業の種類] 魚類養殖業（13経営体）、ノリ養殖業（36経営体）、小型機船底びき網漁業（129経営体）、さわら流しさし網漁業（18経営体）、敷網漁業（40経営体） 計236経営体</p>
-----------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

当地域は、香川県の中央部に位置し、女木島、男木島、直島諸島などの島々を擁して、複雑な海底地形、潮流により好漁場を形成している。

漁業種類については、ブリ類を中心とした魚類養殖業及びノリ養殖業が漁業生産の中心となっているほか、小型機船底びき網、敷網、さわら流しさし網などの漁業が営まれている。

[養殖業]

本県において日本で初めて成功したハマチ養殖が、基幹産業となっており、当地域でも漁場改善及び品質管理を徹底した「なおしまハマチ」というブランド魚の生産に取り組んでいる。

しかし、養殖業においても、魚価の低迷、人材不足などの要因により、養殖業経営を行うのは厳しい状況にあり、経営体数も減少している。

また、ノリ養殖業については、かつては香川県全体の生産額が111億円に達したこともあり、本県は国内でも有数なノリ生産地であったが、生産過剰により価格が急落し、経営体数は急激に減少した。それに加え、近年の海水温の上昇による漁期の短縮化、冬季の栄養塩レベルの低下、漁業コストの向上により、ノリ養殖業の経営は非常に厳しい状況となっている。

[漁船漁業]

域内に位置する高松漁港には、県内で最も多い登録漁船数があり、漁獲された水産物は、同じく域内に位置する中央卸売市場に直接出荷されることが多い。中央卸売市場は、県庁所

在地である高松市の人口集積地に近接しており、魚の流通には好立地となっている。

しかしながら、近年の漁業コストの上昇、魚価の低迷により漁業で生計を立てるのは難しい状況であり、漁業経営体数は減少の一途をたどっている。

また、大半の漁業者は資源管理には取り組んでいるものの、積立ぷらすなどの漁業収入安定対策事業を活用している者が少なく、漁業収入は不安定な状況にある。

(2) その他の関連する現状等

- ・高松・直島を訪問する観光客に新鮮な魚料理を提供する飲食店が少ない。
- ・香川の伝統的な鮮魚の行商人である『いただきさん』が高松市で魚を売りながら、調理方法や食べ方のアドバイス、旬の魚情報等を教えてくれており、水産物の消費拡大や食育の一翼を担っているが、大型スーパーの増加、後継者の不足により、その数が急速に減少している。
- ・高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接している。

3 活性化の取組方針

(1) 基本方針

- 漁業収入の向上
 - ・瀬戸内国際芸術祭を活用した販売促進
 - ・魚類養殖の振興
 - ・ノリ養殖の振興
 - ・販路の拡大
 - ・漁村のにぎわい創出
 - ・『いただきさん』を活用した販売促進
 - ・収入の安定化
- 漁業コスト削減
 - ・省燃油
 - ・ノリ養殖設備の初期投資費・運用管理費の抑制

(2) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

香川県資源管理指針に沿って各漁業協同組合が定めた資源管理計画に基づき、漁獲努力量の削減に努めており、その履行については香川県資源管理協議会が確認を行っている。

(3) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成26年度）

取組の内容は、取組の進捗状況や得られた成果等を踏まえ、必要に応じ見直すこととする。

漁業収入向上のための取組	漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より0.5%増加） ○瀬戸内国際芸術祭を活用した販売促進 ・2013年に開催された瀬戸内国際芸術祭において、直島会場へは国内外から26万人を越える来場者があった。この中には情報発信力の高いメディア関係者も多く含まれており、県産水産物をPRする絶好の機会である。また、多くの来場者は、芸術作品だけではなく、瀬戸内の新鮮な水産物を含む『食』への期待は高い。しかしながら、島内におけ
--------------	--

る県産水産物の提供体制は脆弱であり、大きな PR の機会を活かしきれていないのが実情である。そこで、次回の瀬戸内国際芸術祭が開催される 2016 年に県内水産物の PR ができるよう、直島つり公園などの飲食施設の改修、食材提供、メニュー開発などの検討を始める。

○魚類養殖の振興

- ・魚類養殖業者は、給餌方法等を統一し、月 1 回の魚体検査を行い肥満度、栄養状態を確認する等、きめ細やかな管理を徹底して高品質な「なおしまハマチ」の生産を行う。併せて、適正な投餌量や施設の配置を遵守し、漁協が整備した斃死魚処理施設を活用することにより、漁場環境負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。
- ・県外、特に関東圏においては、ハマチという呼称より鰯のほうが知名度が高く、高値で取引されることを見込めるため、魚類養殖業者は、飼育管理や品質管理を徹底するとともに、4Kg 以上の重量まで生育する「なおしま鰯」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。

○ノリ養殖の振興

- ・県は、経営体の減少により発生した余剰行使枠を他の経営体に割り当て、1 経営当たりの養殖漁場を大規模化する。ノリ養殖経営体は、大規模化に伴い設備、人員も拡充し、作業効率を高める。従来、栄養塩レベルの悪化により品質低下、生産量減少を招いていたが、作業効率の向上により、栄養塩レベルが悪化する前に、短期間に大量のノリの摘み取りを行うことが可能となる。それにより、栄養塩レベルの良否による影響を受けにくい生産体制を構築し、収益性向上を目指す。
- ・ノリ養殖経営体は、ノリ製品に生産者の顔写真や氏名、連絡先、漁協名などを記載したシールを貼るとともに、安全で高品質なノリであることを PR し、販売量増加、価格向上を目指す。
- ・ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。
- ・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。
- ・ノリ養殖経営体は県事業を活用し、クロノリの色落ち対策に取組み品質の向上を目指す。
- ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、食害対策、低栄養塩耐性株の選抜試験、乾ノリ加工技術改善のための研修などに取組み、本地区の海苔養殖経営体も積極的に参加する。

○販路の拡大

- ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。

○漁村のにぎわい創出

- ・現代アート聖地として国内外から多くの観光客が訪れる直島において、漁業者による民宿経営を行い、観光客を漁村地域にも呼び込むことにより、

	<p>漁村のにぎわいを創出し、漁業外収入を確保する。</p> <p>○『いただきさん』を活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、香川の伝統的な鮮魚の行商人であり、高松地区を中心に商売をしている『いただきさん』に対し、水揚げや旬などの情報の提供、施設の利用許可などの支援を行い、地元での消費拡大を図る。 ・地区内の全漁業者は、県、観光協会などと連携し、街角で懐古的な風情を醸し出す『いただきさん』を貴重な観光資源として捉え、いただきさんスタンプラリーなどのイベントを開催し、いただきさんと地元水産物に興味を持ってもらう機会を増やす。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 5.0%削減)</p> <p>○省燃油</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業に参加する地区内の 150 名の漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・10 名の漁業者グループは、省エネ機器への換装を推進する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○ノリ養殖設備の初期投資費・運用管理費の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の養殖経営体が全自動ノリ乾燥機など的高額設備の共同利用を進め、漁業者個人当りの初期投資費・運用管理費を抑制する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・省燃油活動推進事業 [国] ・省エネ機器等導入推進事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・漁業収入安定対策事業 [国] ・特色ある香川の水産物づくり推進事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

2 年目 (平成 27 年度)

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 1.0%増加)</p> <p>○瀬戸内国際芸術祭を活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度に引き続き、直島内の漁業者が、直島つり公園などの飲食施設の改修、食材提供、メニュー開発などに取組む。また、芸術祭実行委員会に対し、芸術祭公式ガイドブックにそれらの飲食施設の掲載を働きかけ、多数の誘客を目指す。 <p>○魚類養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖業者は、給餌方法等を統一し、月 1 回の魚体検査を行い肥満度、栄養状態を確認する等、きめ細やかな管理を徹底して高品質な「なおしまハマチ」の生産を行う。併せて、適正な投餌量や施設の配置を遵守し、漁協が整備した斃死魚処理施設を活用することにより、漁場環境負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。
--------------	---

- ・県外、特に関東圏においては、ハマチという呼称より鰯のほうが知名度が高く、高値で取引されることを見込めるため、魚類養殖業者は、飼育管理や品質管理を徹底するとともに、4Kg以上の重量まで生育する「なおしま鰯」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。

○ノリ養殖の振興

- ・県は、経営体の減少により発生した余剰行使枠を他の経営体に割り当て、1経営当たりの養殖漁場を大規模化する。ノリ養殖経営体は、大規模化に伴い設備、人員も拡充し、作業効率を高める。従来、栄養塩レベルの悪化により品質低下、生産量減少を招いていたが、作業効率の向上により、栄養塩レベルが悪化する前に、短期間に大量のノリの摘み取りを行うことが可能となる。それにより、栄養塩レベルの良否による影響を受けにくい生産体制を構築し、収益性向上を目指す。
- ・ノリ養殖経営体は、ノリ製品に生産者の顔写真や氏名、連絡先、漁協名などを記載したシールを貼るとともに、安全で高品質なノリであることをPRし、販売量増加、価格向上を目指す。
- ・ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。
- ・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。
- ・ノリ養殖経営体は県事業を活用し、クロノリの色落ち対策に取組み品質の向上を目指す。
- ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、食害対策、低栄養塩耐性株の選抜試験、乾ノリ加工技術改善のための研修などに取組み、本地区の海苔養殖経営体も積極的に参加する。

○販路の拡大

- ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。

○漁村のにぎわい創出

- ・現代アート聖地として国内外から多くの観光客が訪れる直島において、漁業者による民宿経営を行い、観光客を漁村地域にも呼び込むことにより、漁村のにぎわいを創出し、漁業外収入を確保する。

○『いただきさん』を活用した販売促進

- ・地区内の全漁業者は、香川の伝統的な鮮魚の行商人であり、高松地区を中心に商売をしている『いただきさん』に対し、水揚げや旬などの情報の提供、施設の利用許可などの支援を行い、地元での消費拡大を図る。
- ・地区内の全漁業者は、県、観光協会などと連携し、街角で懐古的な風情を醸し出す『いただきさん』を貴重な観光資源として捉え、いただきさんスタンプラリーなどのイベントを開催し、いただきさんと地元水産物に興味を持ってもらう機会を増やす。

	<p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 5.3%削減)</p> <p>○省燃油</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・10名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○ノリ養殖設備の初期投資費・運用管理費の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の養殖経営体が全自動ノリ乾燥機などの高額設備の共同利用を進め、漁業者個人当りの初期投資費・運用管理費を抑制する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器等導入推進事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・漁業収入安定対策事業 [国] ・特色ある香川の水産物づくり推進事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

3年目（平成28年度）

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 3.0%増加)</p> <p>○瀬戸内国際芸術祭を活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直島の漁業者が前年度まで検討を進めてきた内容を、瀬戸内国際芸術祭の会期中に実施し、アートの島として世界的に有名な直島を訪れる多くの来島者に対して、新鮮な地元水産物を使用した飲食物を提供する。 <p>○魚類養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖業者は、給餌方法等を統一し、月1回の魚体検査を行い肥満度、栄養状態を確認する等、きめ細やかな管理を徹底して高品質な「なおしまハマチ」の生産を行う。併せて、適正な投餌量や施設の配置を遵守し、漁協が整備した斃死魚処理施設を活用することにより、漁場環境負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。 ・県外、特に関東圏においては、ハマチという呼称より鰺のほうが知名度が高く、高値で取引されることを見込めるため、魚類養殖業者は、飼育管理や品質管理を徹底するとともに、4Kg以上の重量まで生育する「なおしま鰺」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。 <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県は、経営体の減少により発生した余剰行使枠を他の経営体に割り当て、1経営当たりの養殖漁場を大規模化する。ノリ養殖経営体は、大規模化に伴い設備、人員も拡充し、作業効率を高める。従来、栄養塩レベルの悪化により品質低下、生産量減少を招いていたが、作業効率の向上により、栄養塩レベルが悪化する前に、短期間に大量のノリの摘
--------------	--

	<p>み取りを行うことが可能となる。それにより、栄養塩レベルの良否による影響を受けにくい生産体制を構築し、収益性向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、ノリ製品に生産者の顔写真や氏名、連絡先、漁協名などを記載したシールを貼るとともに、安全で高品質なノリであることをPRし、販売量増加、価格向上を目指す。 ・ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。 ・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は県事業を活用し、クロノリの色落ち対策に取組み品質の向上を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、食害対策、低栄養塩耐性株の選抜試験、乾ノリ加工技術改善のための研修などに取組み、本地区の海苔養殖経営体も積極的に参加する。 <p>○販路の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。 <p>○漁村のにぎわい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代アート聖地として国内外から多くの観光客が訪れる直島において、漁業者による民宿経営を行い、観光客を漁村地域にも呼び込むことにより、漁村のにぎわいを創出し、漁業外収入を確保する。 <p>○『いただきさん』を活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、香川の伝統的な鮮魚の行商人であり、高松地区を中心に商売をしている『いただきさん』に対し、水揚げや旬などの情報の提供、施設の利用許可などの支援を行い、地元での消費拡大を図る。 ・地区内の全漁業者は、県、観光協会などと連携し、街角で懐古的な風情を醸し出す『いただきさん』を貴重な観光資源として捉え、いただきさんスタンプラリーなどのイベントを開催し、いただきさんと地元水産物に興味を持ってもらう機会を増やす。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ふらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より5.6%削減)</p> <p>○省燃油</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・10名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○ノリ養殖設備の初期投資費・運用管理費の抑制</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の養殖経営体が全自動ノリ乾燥機などの高額設備の共同利用を進め、漁業者個人当りの初期投資費・運用管理費を抑制する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・漁業収入安定対策事業 [国] ・特色ある香川の水産物づくり推進事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

4 年目（平成 29 年度）

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より 3.5%増加）</p> <p>○魚類養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖業者は、給餌方法等を統一し、月 1 回の魚体検査を行い肥満度、栄養状態を確認する等、きめ細やかな管理を徹底して高品質な「なおしまハマチ」の生産を行う。併せて、適正な投餌量や施設の配置を遵守し、漁協が整備した斃死魚処理施設を活用することにより、漁場環境負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。 ・県外、特に関東圏においては、ハマチという呼称より鰺のほうが知名度が高く、高値で取引されることを見込めるため、魚類養殖業者は、飼育管理や品質管理を徹底するとともに、4Kg 以上の重量まで生育する「なおしま鰺」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。 <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県は、経営体の減少により発生した余剰行使枠を他の経営体に割り当て、1 経営当たりの養殖漁場を大規模化する。ノリ養殖経営体は、大規模化に伴い設備、人員も拡充し、作業効率を高める。従来、栄養塩レベルの悪化により品質低下、生産量減少を招いていたが、作業効率の向上により、栄養塩レベルが悪化する前に、短期間に大量のノリの摘み取りを行うことが可能となる。それにより、栄養塩レベルの良否による影響を受けにくい生産体制を構築し、収益性向上を目指す。 ・ノリ養殖経営体は、ノリ製品に生産者の顔写真や氏名、連絡先、漁協名などを記載したシールを貼るとともに、安全で高品質なノリであることを PR し、販売量増加、価格向上を目指す。 ・ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。 ・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は県事業を活用し、クロノリの色落ち対策に取組み品質の向上を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、食害対策、低栄養塩耐性株の選抜試験、乾ノリ加工技術改善のための研修などに取組み、本地区の海苔養殖経営体も積極的に参加する。 <p>○販路の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場
--------------	---

	<p>と人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。</p> <p>○漁村のにぎわい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代アート聖地として国内外から多くの観光客が訪れる直島において、漁業者による民宿経営を行い、観光客を漁村地域にも呼び込むことにより、漁村のにぎわいを創出し、漁業外収入を確保する。 <p>○『いただきさん』を活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、香川の伝統的な鮮魚の行商人であり、高松地区を中心に商売をしている『いただきさん』に対し、水揚げや旬などの情報の提供、施設の利用許可などの支援を行い、地元での消費拡大を図る。 ・地区内の全漁業者は、県、観光協会などと連携し、街角で懐古的な風情を醸し出す『いただきさん』を貴重な観光資源として捉え、いただきさんスタンプラリーなどのイベントを開催し、いただきさんと地元水産物に興味を持ってもらう機会を増やす。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 5.9%削減)</p> <p>○省燃油</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・10名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○ノリ養殖設備の初期投資費・運用管理費の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の養殖経営体が全自動ノリ乾燥機などの高額設備の共同利用を進め、漁業者個人当りの初期投資費・運用管理費を抑制する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・漁業収入安定対策事業 [国] ・特色ある香川の水産物づくり推進事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

5年目（平成30年度）

取組の最終年であり、以下の取組を引き続き行うが、目標達成を確実なものとするよう、プランの取組の成果を検証し必要な見直しを行う。

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 4.0%増加)</p> <p>○魚類養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖業者は、給餌方法等を統一し、月1回の魚体検査を行い肥満度、栄養状態を確認する等、きめ細やかな管理を徹底して高品質な「なおしまハマチ」の生産を行う。併せて、適正な投餌量や施設の配置を遵守し、漁協が整備した斃死魚処理施設を活用することにより、漁場環境負荷の軽減を図り、適正な漁場環境を維持する。
--------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・県外、特に関東圏においては、ハマチという呼称より鰯のほうが知名度が高く、高値で取引されることを見込めるため、魚類養殖業者は、飼育管理や品質管理を徹底するとともに、4Kg以上の重量まで生育する「なおしま鰯」の販売促進を行い、養殖業の収益を向上させる。 <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県は、経営体の減少により発生した余剰行使枠を他の経営体に割り当て、1経営当たりの養殖漁場を大規模化する。ノリ養殖経営体は、大規模化に伴い設備、人員も拡充し、作業効率を高める。従来、栄養塩レベルの悪化により品質低下、生産量減少を招いていたが、作業効率の向上により、栄養塩レベルが悪化する前に、短期間に大量のノリの摘み取りを行うことが可能となる。それにより、栄養塩レベルの良否による影響を受けにくい生産体制を構築し、収益性向上を目指す。 ・ノリ養殖経営体は、ノリ製品に生産者の顔写真や氏名、連絡先、漁協名などを記載したシールを貼るとともに、安全で高品質なノリであることをPRし、販売量増加、価格向上を目指す。 ・ノリの直営販売所を運営し、旬のノリ本来の味と香りを直接消費者に提供する機会を増やし、購買層の拡大を図る。 ・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ノリ養殖経営体は県事業を活用し、クロノリの色落ち対策に取組み品質の向上を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化を目指し、食害対策、低栄養塩耐性株の選抜試験、乾ノリ加工技術改善のための研修などに取組み、本地区の海苔養殖経営体も積極的に参加する。 <p>○販路の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協とともに、高松漁港、高松市中央卸売市場と人口集積地やイベント開催地が近接しているという好立地を活かし、産直市について検討することにより、新たな顧客の開拓を図る。 <p>○漁村のにぎわい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代アート聖地として国内外から多くの観光客が訪れる直島において、漁業者による民宿経営を行い、観光客を漁村地域にも呼び込むことにより、漁村のにぎわいを創出し、漁業外収入を確保する。 <p>○『いただきさん』を活用した販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、香川の伝統的な鮮魚の行商人であり、高松地区を中心に商売をしている『いただきさん』に対し、水揚げや旬などの情報の提供、施設の利用許可などの支援を行い、地元での消費拡大を図る。 ・地区内の全漁業者は、県、観光協会などと連携し、街角で懐古的な風情を醸し出す『いただきさん』を貴重な観光資源として捉え、いただきさんスタンプラリーなどのイベントを開催し、いただきさんと地元水産物に興味を持ってもらう機会を増やす。
--	---

	<p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぷらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 6.2%削減)</p> <p>○省燃油</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・10名の漁業者グループは省エネ機器による操業により、燃料の消費を削減する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○ノリ養殖設備の初期投資費・運用管理費の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の養殖経営体が全自動ノリ乾燥機などの高額設備の共同利用を進め、漁業者個人当りの初期投資費・運用管理費を抑制する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・漁業収入安定対策事業 [国] ・特色ある香川の水産物づくり推進事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]

(4) 関係機関との連携

<p>○香川県水産試験場との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産試験場が行う資源管理に関する調査の結果を基に、効率的な資源管理に努める。 ・当地域での水質等に適した養殖技術について研究を共同で行う。 <p>○他地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地域の漁業協同組合とも連携し、運送の共同運行などにより流通コストの削減を目指す。

4 目標

(1) 数値目標

漁業所得の向上 %以上	基準年	平成 年度：漁業所得	千円
	目標年	平成 年度：漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
・省燃油活動推進事業 [国]	燃油経費への負担を軽減し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。

<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器等導入推進事業 [国] 	<p>省エネ機器への換装を促進し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] 	<p>燃油経費への負担を軽減し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・漁業収入安定対策事業 [国] 	<p>漁業者の収入安定を図り、漁業経営の基盤を強化することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・特色ある香川の水産物づくり推進事業 [県] 	<p>ノリの色落ち・安定生産等の対策に取り組むことにより、ノリの価格を安定させ、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・香川県水産振興総合対策事業 [県] 	<p>水産物の販売促進、食育活動に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>